

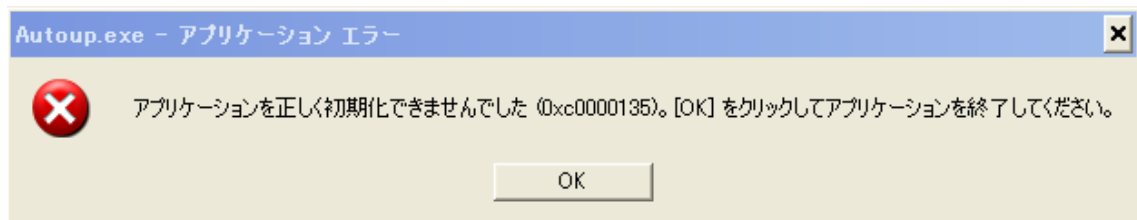
Microsoft.NET Framework インストール手順

1. はじめに

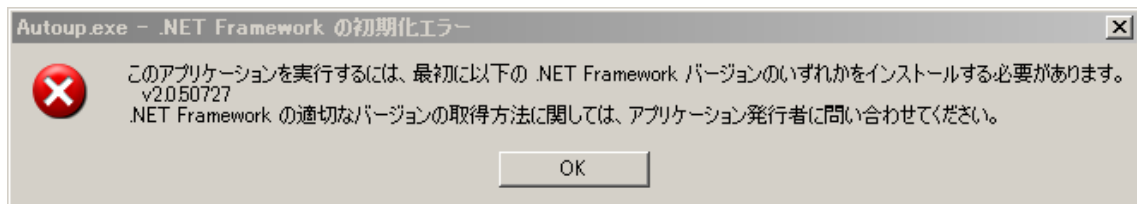
以下のバージョンより、@dream をご利用される際には「Microsoft.NET Framework 2.0」以降のバージョンと「Microsoft.NET Framework 4」が必要となります

- ・ @dream2000 売買版 Ver. 10 以降、@dream2000 賃貸版 Ver. 13 以降

※ 「Microsoft.NET Framework2.0」以上がインストールされていない場合、@dream を起動すると下図のようなエラー画面が表示されます。



または



「2. Microsoft .NET Framework インストール確認方法」をご参考の上、必要な Framework がインストールされていない場合はインストール手順に従い、ご利用される PC にインストールを行ってください。

Microsoft .NET Framework 2.0 以降がインストールされていない場合は以下の章を参照してください。

「3. Microsoft .NET Framework 2.0 以降インストール手順」

その他オプションソフトのインストール、@dream データ移行、全ての作業が完了後、「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「Windows Update」をクリックし、Windows を最新の状態に保ってください。

.NET Framework および OS を最新の状態に更新してください。

優先度の高い更新プログラム

これは、システム全体に関わる更新プログラムまたは複数の問題を解決する更新プログラム更新プログラムとは別にインストールする必要があります。
まず、この更新プログラムをインストールし、その後ホーム ページに戻って、他に優先更新プログラムが必要でないか確認することをお勧めします

Microsoft Windows Server 2003

☐ .NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 および .NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラム (KB951847) x86

ダウンロード サイズ: 69.2 MB , 2 分

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 は、.NET Framework 2.0、3.0、3.5 上で過去提供された多数の新機能や、.NET Framework 2.0 と .NET Framework 3.0 のサブコンポーネントに対してこれまで提供されてきたサービス更新プログラムすべてを含む、累積的な更新プログラムです。.NET Framework 3.5 ファミリー更新プログラムでは、アプリケーションの互換性に関する重要な更新が行われています。この Service Pack と更新プログラムの組み合わせは、.NET Version 2.0 ~ 3.5 に適用可能です。 [詳細...](#)

.NET Framework 2.0~3.5 (Service Pack 含む)
および OS の Service Pack を全て更新してください

2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法

※確認、インストールは「Administrators 権限」を持つユーザーで行ってください。

◆Windows Server 2003/ Windows Server 2003 R2 の場合

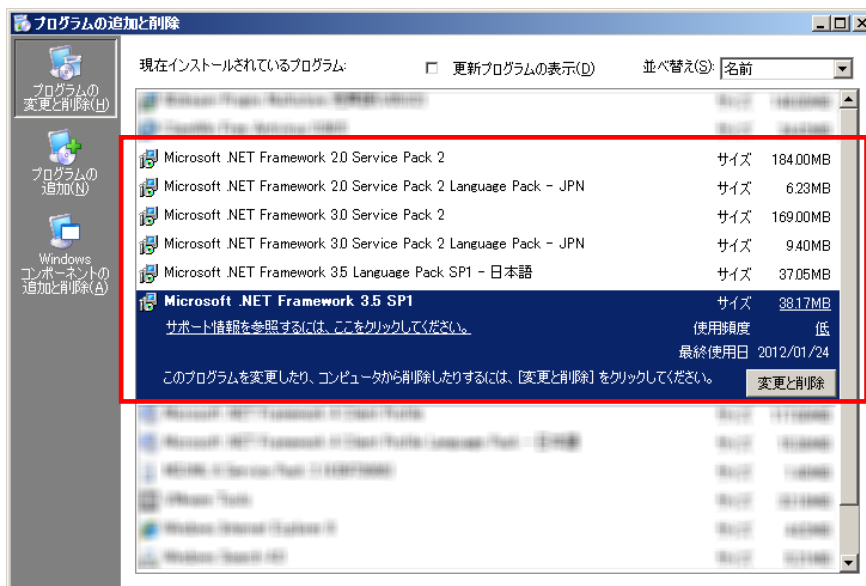
① 「プログラムの追加と削除」画面を開きます。

「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」 をクリック
します。



② 「Microsoft.NET Framework2.0」以降がインストールされていることを確認します。

(画面は Microsoft.NET Framework2.0～3.5SP1 までインストールしています)



3. Microsoft.NET Framework 2.0 以降インストール手順

「2. Microsoft.NET Framework インストール確認方法」と同じ方法でプログラムが確認できない場合は手順に沿って以降の手順でインストールを行ってください。

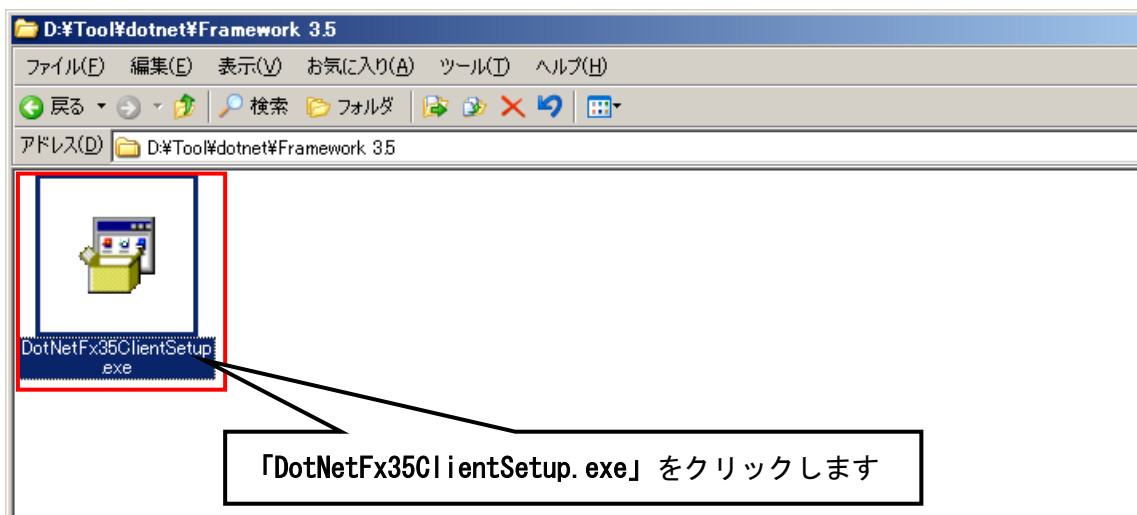
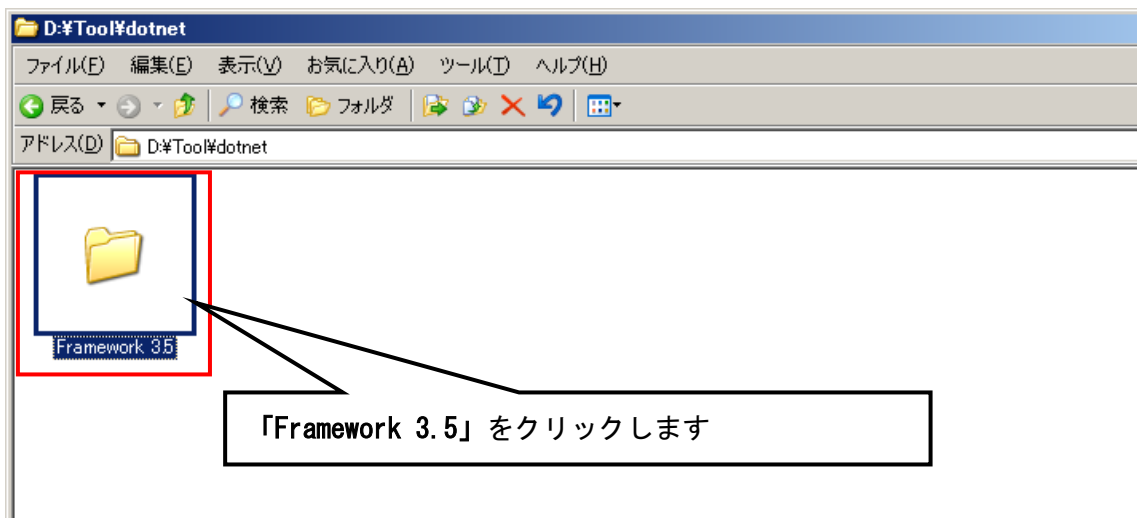
◆Windows Sever 2003/ Windows Server 2003 R2 の場合

① @dream のインストール CD を CD ドライブにセットしてください。

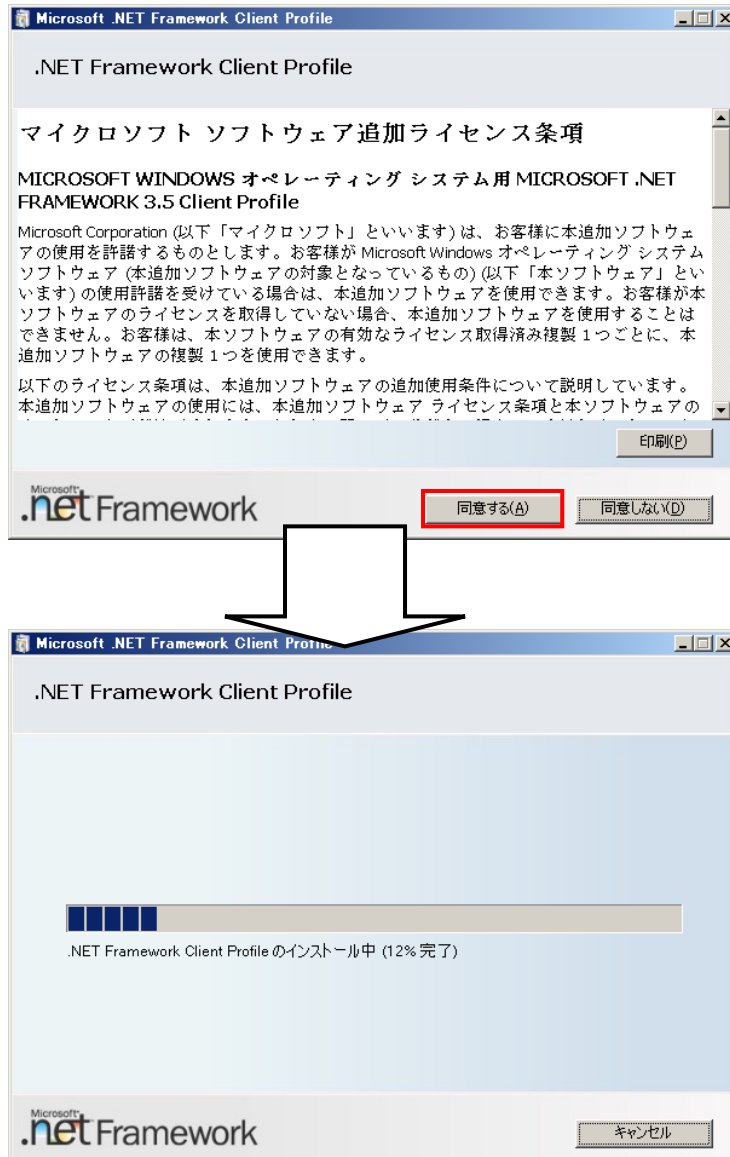
② 「DotNetFx35ClientSetup.exe」 をインストールします。

i CD ドライブから「Tool」 → 「dotnet」 →

「Framework 3.5」 → 「DotNetFx35ClientSetup.exe」 をダブルクリックします。



- ii 画面に従って「Microsoft .NET Framework Client Profile」をインストールします。『同意する』ボタンをクリックし、インストールを進めます。



iii 以下のような画面が表示されればセットアップ完了です。

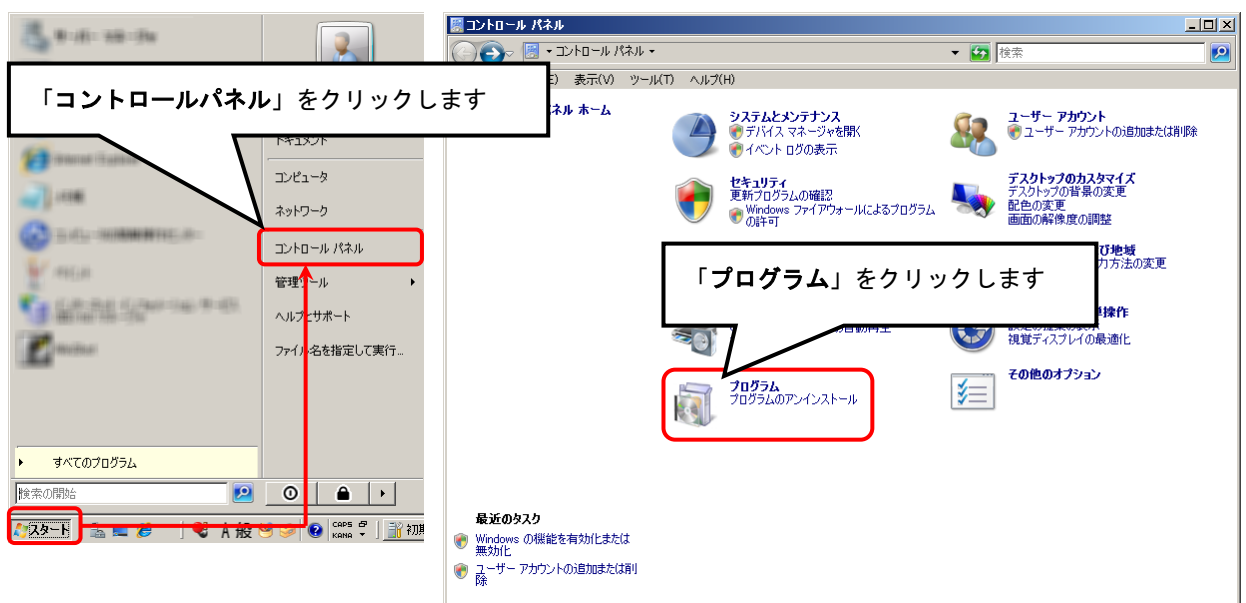


◆Windows Sever 2008/ Windows Server 2008 R2 の場合

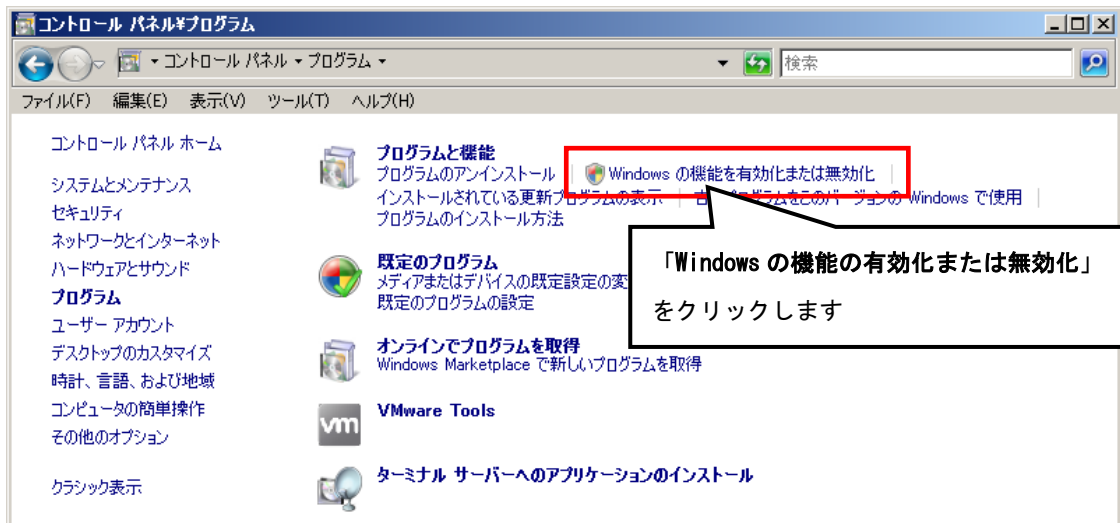
Windows Server 2008/ 2008 R2 では標準で「Microsoft.NET Framework 2.0」以降がインストールされていますが、念のためご確認ください。

① 「プログラム」画面を開きます。

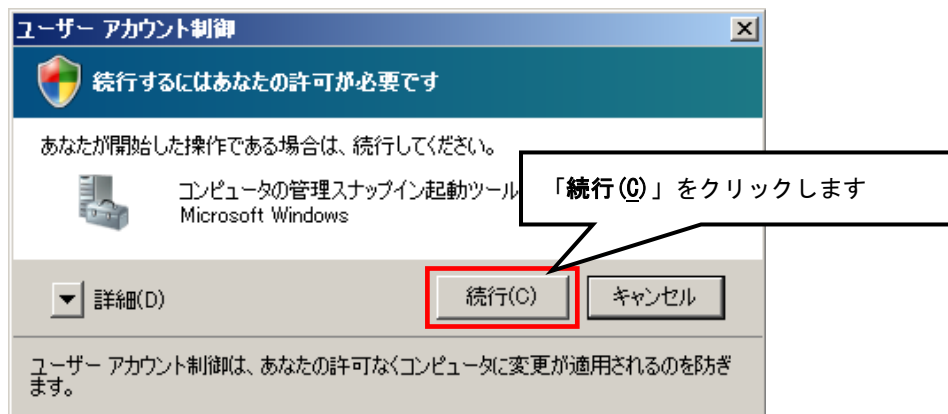
「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラム」をクリックします。



② 「Windows の機能を有効化または無効化」 をクリックします。



③ 「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」ボタンをクリックします。



- ④ 「サーバーマネージャー」画面で「機能の概要」→「機能」から「.NET Framework *.*の機能」が存在するか確認します。インストールされていない場合は、「機能の追加」から「機能の追加ウィザード」画面を開き、「.NET Framework *.*の機能」をインストールしてください。

※「*.*」の番号はOSによって変わります。

